



# 欠片の復元力

～三聖病院の余材から～

（複数行の日本語テキストが記載されていますが、意味を正確に翻訳することは困難です。）

2016年 9月16日（金）

10月15日（土）

会期中無休

開館時間 月～土 9:00～18:00  
日・祝 9:00～17:00

観覧料金 無料

使い古されたモノに  
しか醸し出せない  
ものとはなにか。  
声なきモノからどの  
ようになればよいか。  
時を流れ去った  
時には考古遺物の  
ように、時には友  
達のアルバムのよう  
に  
残された欠片（か  
けら）と向き合つて  
みましよう。

隅々にまで人の手  
と時間が育てた豊  
穣な存在感があり  
ました。

築90年の木造建  
物がひとつ、姿を  
消しました。



# 欠片の復元力

～三聖病院の余材から～

甲南大学では毎年、国内外で活躍している作家による展覧会を行っています。展覧会の企画・運営は、博物館実習生を中心となって取り組んでいます。今年は、取り壊される建築物からウクレレをつくる「建築物ウクレ化保存計画」、取り壊される建築の「お見送り」、今では使われなくなった燃料「亜炭」について聞き取り調査を行う「亜炭香古学」など、ユニークなアートプロジェクトで活躍する美術家・伊達伸明氏による展覧会を開催します。

## 関連イベント

トークイベント「空間記憶を読む」

9月25日（日）15:00～17:00

ゲスト 伊達伸明（出展作家）

三脇康生（仁愛大学大学院臨床コース教授 / 精神科医 / 美術批評家）

聞き手 服部 正（甲南大学文学部 准教授）

会場 甲南大学5号館511教室（ギャラリー横）

聴講無料・予約不要



## 展示監修

伊達伸明（だて・のぶあき）



三聖病院

1964年 大阪生まれ

1991年 京都市立芸術大学美術学部大学院工芸科修了

学生の頃より楽器、音に関わる作品制作を始め、2000年より取り壊される建物の部材の一部を用いてウクレレを制作し、肌感覚から建物を保存しようとする「建築物ウクレ化保存計画」をスタート。現在までに寺院、学校、一般住宅など68（8月現在）の物件の建物をウクレ化。

各地での個展やトーク・ワークショップなどの他、水戸芸術館（2002年）、兵庫県立美術館（2005年）、国立民族学博物館（2005年）、大阪市近代美術館心斎橋展示室（2006年）、大阪歴史博物館（2011年）、アルコミュージアム（ソウル／2011年）などで建築物ウクレレを展示している。

ウクレレ以外では、「未来への素振り」（小山田徹との共同展示／京都芸術センター／2010年）、「池上遊覧鉄道」（岡田毅志との共同制作／総社市池上駅／2011年）、「一弦さん」（楽器は語る／国立歴史民俗博物館／2012年）、「亜炭香古学」（仙台市内／2012年）などのアートプロジェクトを行う。

## 会場

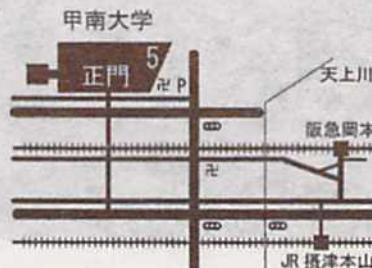
甲南大学ギャラリー・パンセ（甲南大学5号館1階）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩10分、

JR神戸線摂津本山駅北口より北西へ徒歩12分

\*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



Galerie  
Pensee  
ギャルリー・パンセ

<お問い合わせ先>

078-435-2572 (担当教員: 藤部)

078-435-2675 (文学部事務室)